

## 「児童養護施設「翼」を支える 「安心・自信・自由」の地域づくり～ CAP事業推進から」

- 2020年度  
児童養護施設周辺地域のCAPの実施
- 2021年度  
コミュニティベースのCAP推進事業  
～「安心・自信・自由」の地域づくり
- 2022年度児童養護施設「翼」を支える  
「安心・自信・自由」の地域づくり  
～CAP推進事業から



## 団体紹介

豊中市における同和問題解決のための施策をはじめ、人権施策の推進に、**豊中市と連携・協力するとともに、差別のないコミュニティの形成に寄与し、すべての人の人権が尊重される人権文化のまちづくりの実現に資することを目的とする。**

- 活動地域：大阪府豊中市(人口約40万人)
- 設立：1953年(前身：豊中市同和事業促進協議会)  
2002年 とよなか人権文化まちづくり協会に改組  
2010年3月 法人格取得
- 事務局：常勤5人 非常勤30人
- 予算規模：約6200万円
- 活動内容：【豊中市委託事業】人権相談支援事業、人権情報啓発事業、人権教育交流事業  
【自主事業】本助成金事業など
- 事務所：人権平和センター豊中(第五中学校区)、人権平和センター蛍池内(第十八中学校区)

## 助成金申請の背景

- 協会は、2020年からプロポーザル方式で豊中市よりこどもの学び・居場所事業 子ども多世代ふれあい事業を新たに受託
- 第五中学校区に**児童養護施設「翼」**があること(開設2018年)

• 子どもをめぐる状況 **不登校、いじめ、児童虐待相談件数とも激増している。**

豊中市の就学前施設在園者約1万4千人、小学校児童数約2万人、中学校生徒数約9千人。不登校児童生徒は6年間で1.7倍。2021年は778人(小学校318人、中学校460人)2016年466人(小学校134人、中学校332人)いじめ認知件数も激増している。

• 市内の児童虐待相談件数は、2012年度の906件から2020年度は2110件と2倍以上に増加。2025年に大阪府内中核市として初の児童相談所を設置することを決める(豊中市HPより)

**人権教育プログラムCAP(子どもへの暴力防止)プログラムを地域の児童養護施設、学校園の子ども、教職員、保護者に届け、「安心・自信・自由」の地域づくりをめざす**

## ビジョン

「人権」は、一人ひとりの“生きる力”  
子どもも大人も自分を権利の主体として認識するための重要なプログラムであるCAPプログラム提供事業を軸にして、  
「安心・自信・自由」の地域を目指し、顔の見える協力関係をつくる

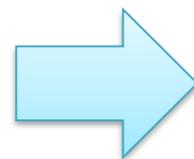
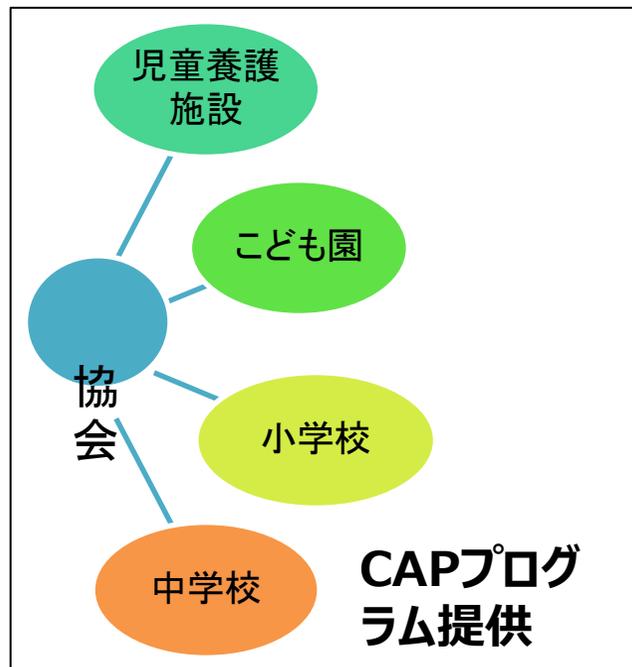
## 事業の枠組み

協会機能と地域でのネットワークをいわば「ハードウェア」とし、  
CAPみしま・大阪を「ソフトウェア」として地域にCAPを届ける

## 主な実施事業

- ・児童養護施設、こども園、小学校、中学校でのCAPプログラム提供事業の継続
- ・小学生映像制作講座
- ・おとなの仲間作り  
(おにぎり大会、「翼」でのおやつづくり、  
円卓会議への呼びかけ：活動基盤強化)

## 事業当初のイメージ



児童養護施設「翼」の  
エンパワーを考える市民  
の円卓会議の企画・実施

# 3年間の実績、成果

事業名	主な受益者	活動内容 (アウトプット)	活動の成果 (アウトカム)
CAP (子どもの暴力防止プログラム)の実施	子ども おとな	・子ども21件 (*6学校園)、948人 ・おとな25件、483人	9割以上のおとなが「CAPは子どもに必要」と回答
映像制作講座	子ども	2回10作品 40人	小学生が大学生の協力を得てグループで作品を完成
児童養護施設「翼」のエンパワーを考える市民の円卓会議	子ども 「翼」に関心を持つ市民	5回 100人	「翼」を起点に、子どもの人権や社会的養護について考えるようになる
活動基盤強化(おにぎり大会、おやつづくり、お寺開き)	子ども 参加するおとな	11回 289人	CAP事業や地域の子どものことを考える継続的場が必要と考える市民が増える

## 現在のイメージ

児童養護施設「翼」のエンパワーを考える市民の円卓会議

「翼」を中心にした顔の見える関係



\* 児童養護施設「翼」、豊中市立克明小学校、箕輪小学校、第五中学校、第十八中学校、ともだちこども園

## 1年目：児童養護施設周辺地域のCAPの実施 CAPの認知度がほとんどない状態から出発

- ・市民対象のおとな向けワークショップで学校関係者にインパクト  
→人権教育プログラムであるという理解  
→第5中学校が即座に導入決定
- ・広報活動 協会HPに特設サイトを設ける  
→おとな向けワークショップを即座に映像化してHPにアップ
- ・中学生暴力防止プログラムでアンケートから実績を明らかにしたことで中学校管理職の理解（NPO法人CAPみしま・大阪）
- ・中間振り返り（21年2月）で「翼」、学校園の関係者と実施後の子どもたちの様子などを意見交換した  
→次年度につなぐ
- ・1年目の実績報告書の作成

### ②CAPのプログラム



<https://www.youtube.com/watch?v=1U6ZWhHVAgg>



ともだちこども園



第五中学校



<http://toyoin.secret.jp/wp-content/uploads/2021/11/2020houkoku.pdf>

## 2年目：コミュニティベースのCAP推進事業～「安心・自信・自由」の地域づくり 五中校区から十八中校区、庄内地域での展開「映像制作講座」など新しい取り組み

- ・**コミュニティベース** 協会事務局が校区学校園とCAPみしま大阪を調整して校区内でのCAP提供事業の継続（学校園とCAPプログラム提供者、協会との**三者関係**で安定して継続）
- ・**校区以外への展開** 五中校区から十八中校区でのおとな向けワークショップ、庄内地域でのおとな向けワークショップは豊中市と共催
- ・協会蛭池地区での子ども事業でCAPワークショップを受けた小学生へ「映像制作講座」の実施（テーマ「おとなに言いたいこと」）
- ・活動基盤「おにぎり大会」「翼でのおやつ作り」などの動きを本助成金事業に位置付ける
- ・報告書の作成でCAPプログラムの反響を明らかに



映像制作講座



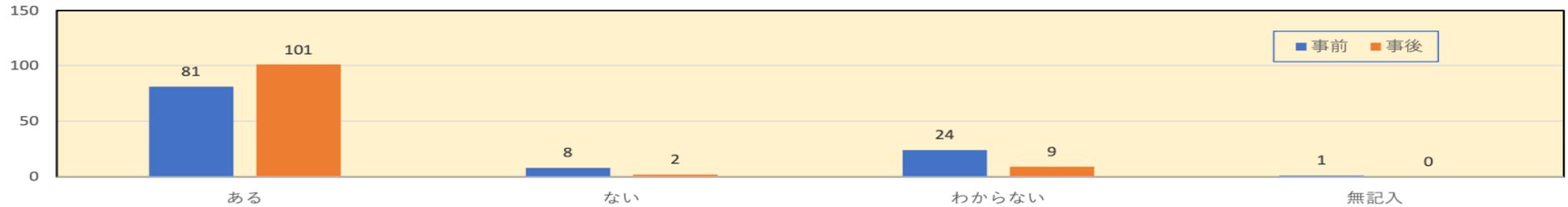
ともだちこども園

<http://toyoin.secret.jp/wp-content/uploads/2023/02/Obd28694493891701205267ee2028d14.pdf>

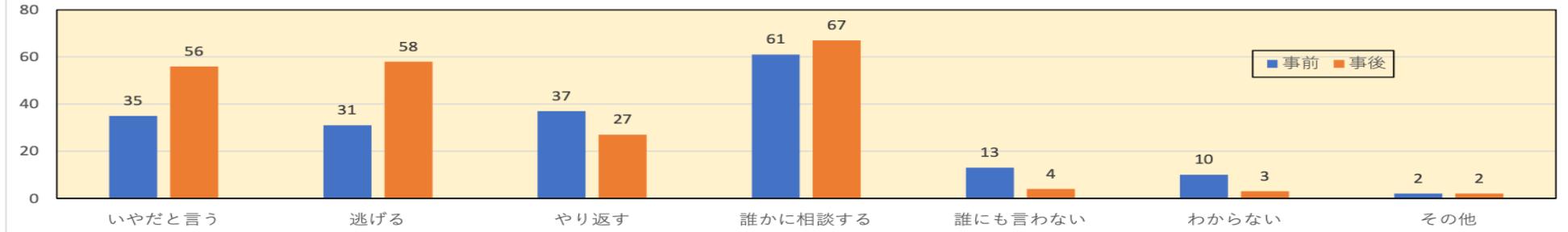
## いじめや暴力にあった時「いやだという」「逃げる」「相談する」と回答する子どもが増える

2学年全体

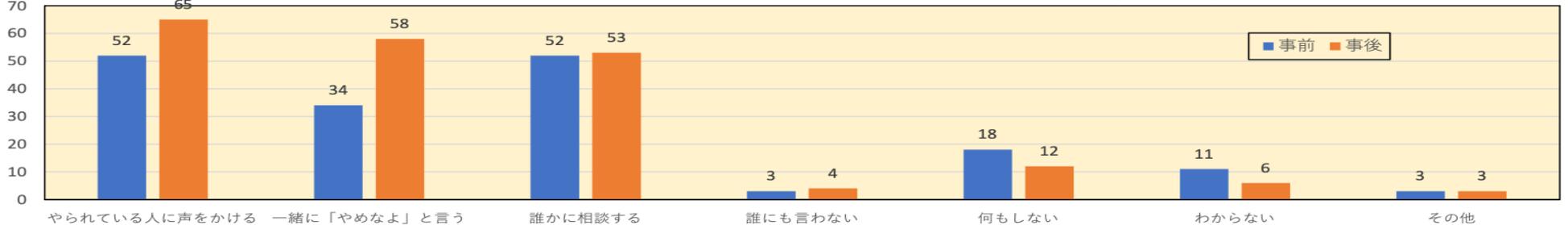
あなたは、いじめや暴力にあわないで、安心して生きる権利があると思いますか？



いじめや暴力にあったら、あなたはどうしますか？（複数回答）



他の人がいじめや暴力にあっているのを見たら、あなたはどうしますか？（複数回答）



## 児童養護施設「翼」職員アンケートより

今まで、CAPという名前は聞いたことがあったが、内容までは知らなかったため、今回CAPについて深く知ることが出来た。なぜ子どもは暴力にあいやすいのかを考えることで、その防止策や被害の早期発見につながっていくと気づいた。



子どもは暴力をされたら「いや」という、知らない人に触られたら「逃げる」といった当たり前のことを知らない、できないことがあります。こういったことは繰り返し伝えて行く必要があると思いました。私たちが今回聞いたことを子どもたちにも伝え、守り、少しでも多くの暴力がなくなればいいと思いました。

### 2年間の助成金事業に対して

2022年1月27日付「豊中市立人権平和センターにおける人権啓発等に係る業務を委託する事業者の業務の履行状況の評価について（答申）」の総括評価において「自主事業で実施している『ドコモ市民活動団体助成事業』と連携し、積極的に事業を実施している点を評価する」と、高い評価を受けました。

子ども目線でとても分かりやすかったです。子どもに権利の話をしたことがあります。全然わかってもらえませんでした。子どもにとって難しい話をどう伝えるといいのか勉強になりました。

## 3年目：児童養護施設「翼」を支える「安心・自信・自由」の地域づくり～CAP推進事業からCAP推進事業の発展として、児童養護施設「翼」をエンパワーする市民の円卓会議の提案

- ・CAP推進事業によって、「翼」に心を寄せる地域住民、市民との出会い  
→児童養護施設「翼」をエンパワーする市民の円卓会議の提案と実施によって一気にネットワークが広がる
- ・円卓会議から地域資源の再発見と連携  
→信行寺のお寺開放 月1度「翼」の子どもへ お寺を中心に市民が迎え入れ

### 【円卓会議の目的】

- ・社会的養護の現状と課題、子どもの人権について学びあう
- ・子どもが安心して暮らす地域をめざして、「翼」に心を寄せる人がつながら
- ・「場」を継続して、具体的な課題を明らかにする



お寺で思い思いに遊ぶ子どもたち



信行寺で子どもたちを見送ったボランティア  
右端が坊守さん



信行寺で開催された第2回円卓会議

- ・**第1回円卓会議** 22年12月16日（金）  
出会のワークショップ 上村有里さん（ESDとよなかネットワーク）
- ・**第2回円卓会議** 23年1月18日（水）  
「CAPが大事にしていること」  
木村里美さん（J-CAPTAチーフディレクター）
- ・**第3回円卓会議** 23年3月1日（水） 信行寺本堂  
「「里親」を経験して思うこと」 宇野田陽子さん（言語聴覚士）  
翼の子たち、近所の子たちが気軽に立ち寄れる「お寺」アイデア出し
- ・**第4回円卓会議** 23年5月26日（金）  
お寺開き中間報告 岩田はぎ子さん（信行寺坊守）  
「地域から社会的養護を考える～子どもたちの健やかな成長を願って」 森 祐昭さん（克明校区社会福祉協議会会長・  
常照園前園長）
- ・**第5回円卓会議** 23年7月28日（金）  
「子どもの養育について思うこと～施設養護を通して」  
古川さおりさん  
（社会福祉法人 大阪水上隣保館児童養護施設 翼 主任）

\* 毎回20人以上の参加 市内にある大阪音楽大学教員、卒業生、学生、里親、市会議員、精神障害者福祉施設理事長、克明校区社会福祉協議会会長、民生委員、児童委員、教職員、市民

## 工夫している点

1. 子どもの人権を軸に多様な報告者
2. 出会いの場として  
アイスブレイク、報告時間は短く  
参加者同士の対話を重視
3. 会場（地域資源の発掘）  
翼、信行寺、協会、学校、みとい製作所（生活介護・就労支援B型）



大阪音楽大の学生による演奏（円卓会議）

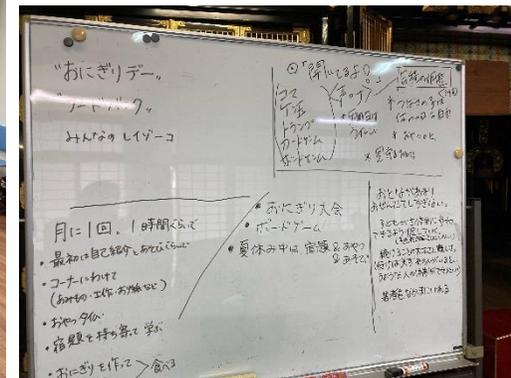
# 連携・協働の事例と団体の強み

## 連携

- ・NPO法人CAPみしま・大阪、J-CAPTA
- ・「いこっと」（豊中市内の子どもの居場所事業のネットワーク）
- ・NPO法人とよなかESDネットワーク
- ・克明校区社会福祉協議会、豊中市社会福祉協議会
- ・豊中市、豊中市教育委員会



「翼」で第1回円卓会議



お寺の活動についてブレインストーミング

## 強み

- ・長年地域で活動  
（学校園との信頼関係、地域のお寺、福祉施設、豊中市、豊中市教育委員会）
- ・協会の事業担当職員（兼任）がCAP提供事業の調整  
CAP提供事業を進める上で、翼、学校園との密接なコミュニケーションとCAPみしま・大阪との調整  
（翼、学校園の不安やニーズを把握しCAPみしま・大阪に伝える、ワークショップ開催の事務的な準備一切を担う）
- ・協会事業を生かす（例：「まちづくり講座」の企画と連動）



## 「翼」をエンパワーする市民の円卓会議の継続と発展 CAPの理念を手がかりに

（\*エンパワー：一方的に力を付与するという意味ではなく力を引き出し合うという意味で使用）

### 子どもの人権を基盤に

「翼」に暮らす子たちの気持ちに寄り添える大人に  
「翼」から離れる子どもの気持ちを大切にしたいサポートとは？

→

自己責任論を越えて  
すべての子どもの課題

→

学び合い、考え合う場  
継続と実践へ

「顔見知り以上」  
「週末里親未満」  
の市民を増やす

地域のプラット  
フォームづくり  
子どもの居場所  
出会いの場

創造的な表現活  
動をつくる  
音楽、造形、  
映像制作

「翼」の子たちの  
声が聴けるように

2023年9月1日以降  
協会自主財源で  
事業を継続  
→外部資金の導入  
が必要

社会的養護は、国や自治体の制度に関わる課題だが、市民が「知っている子」や「顔見知り」の職員さんたちと子どもをめぐる諸課題について意見交換し、できることを探り実行するというスタンスで考える。